

令和5年度 事業概要

令和5年4月1日～令和6年3月31日

- ビッグレスキューかながわ（神奈川県・大井町合同総合防災訓練）に参画し、おおい中央公園の休憩室を使って、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。当日は朝から強い雨に見舞われ、雨天ならではの様々な課題が洗い出されるとともに新たな気づきを得ることができました。
- 令和3年から導入しているkintoneを訓練でも活用し、事前・当日受付などのスムーズな対応が実証できました。
- 平成27年に大井町と締結した「災害時協定」については、災害救助法対応等経年変化に対する整理をし、ビッグレスキューかながわにおいて検証を行い、協定を改訂しました。
- 「ともに生きる社会かながわ憲章」に基づき事業を展開しました。既存のレスパイトサービスを拡大し、広く参加者とボランティアを募集し、障がい者の理解を深めるとともに社会参加のきっかけづくりとして、参加しやすいイベントとして開催しました。
- 同様に、福祉みんなのつどいにおいても、視覚障がい者誘導体験や盲導犬ユーザーの講話を午前中に開催するとともに、午後は式典後に「ともに生きる社会へ向けた地域づくり」をテーマとして講演会を開催しました。
- 「日常生活自立支援事業」では9件の新規契約があり、「法人後見事業」においては2件の新規受任をいたしました。
- 地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体計画である「地域福祉プラン」の改訂をしました。
- 元日に発生した能登半島地震への支援を目的に、義援金の募集を行うとともに「北陸物産展」を開催しました。

1. 地域福祉活動部門

- ◆買物支援事業は令和4年度末に2か年の実績等の評価を行い、令和5年も継続的に実施しました。
- ◆わくわく・ショッピングの実施にあたっては、移送サービスの運転ボランティアと新たに介助ボランティアの協力によりスムーズな運行ができました。
- ◆西大井ふくしの会が取り組んでいる、調査活動などを「西大井モデル報告会」として他地区へ波及を目指して情報を発信しました。

(1)生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)設置

目 的	既存の取組み・組織等を活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域のニーズと取組のマッチング等のコーディネートを行い、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進します。		
目 標	買物支援事業の実施による優先的な生活課題の改善を図ります。モニタリングによる事業評価を行い、大井町流の生活支援の仕組みづくりを進めます。	評 価	○

①生活支援ニーズとサービス等のマッチングの促進

令和5年度も生活応援隊のゴミ出し依頼の件数が増加しました。初回の面談時にゴミ出し以外のニーズなどを聞き取り、移送サービスやわくわく・ショッピングの利用につなぎました。

また、移動販売についても定期的に販売拠点を巡回し、利用状況を確認しました。

事業名称等	期 日 等	内 容
移動販売	毎週水曜日午後	◎4月から町内9拠点での販売を行いました。 (篠窪・柳・中屋敷・下山田・上大井・馬場・市場・新宿2か所)
わくわく・ショッピング	毎週木曜日午前 スーパーヤオマサ大井町店・あしがらモール店	◎運転ボランティア・介助ボランティアの協力により実施 ◎買物支援事業利用者など40名の登録 実施回数 49回 延べ利用者 822人 登録者 40人

②ネットワークの拡充

西大井ふくしの会では、身近な地域で生活支援活動を実践するために各種の取組を進めています。自治会の全世帯を対象としたアンケート調査や民生委員児童委員の経験者・現任者で組織した「暮らし安全・安心サポート隊」の立ち上げなど、先駆的事例などの情報を西大井自治会に合わせた形にアレンジして新しい仕組みを構築しています。その手法を町内の他自治会へ波及することを目的に「西大井モデル報告会」を開催しました。

同時に、地域活動をする上で活用が不可欠となる個人情報についても理解を深めるために、地域福祉における個人情報保護に詳しい、内嶋順一弁護士をお招きして研修会を開催しました。

事業名称等	期 日 等	内 容
西大井モデル報告会・個人情報保護研修会	9月5日(火) 生涯学習センター	<p>【西大井モデル報告会】 テーマ:「ふくしの会暮らし安全・安心サポート隊」の設立について 講 師:安池範明氏(西大井ふくしの会会長) テーマ:「ふくしの会暮らし安全・安心サポート隊」の具体的な活動等について 講 師:鈴木比呂美氏(西大井ふくしの会副会長)</p> <p>【個人情報保護研修会】 テーマ:地域活動における個人情報保護のポイント 講 師:内嶋順一氏(みなと横浜法律事務所弁護士)</p> <p>参加者延べ27名</p>

③社会資源の把握や周知、新たな資源等の創出に関する計画

フォーマル・インフォーマルサービスの連携等を目的に、データ更新・追加を行った「社会資源一覧表」と社協の各種在宅福祉サービスのチラシを、町内・外の居宅介護支援事業所等に配付しました。

事業名称等	内 容
社会資源一覧表のデータ更新・追加	◎既存のデータを更新並びに検索をしやすいするため、目次を追加 ◎民生委員児童委員をはじめ、町内・外の居宅介護支援事業所へ配付(約50事業所)
生活支援提供者フォローアップ	◎各種講座の案内などを送付
生活支援提供者養成研修	はじめの一步講座の開催≪2月27日(火)、3月8日(金)≫会場:保健福祉センター ◎大井町の福祉の現状 ◎すずの会「ダイヤモンドクラブ」の活動について
課題解決へ向けた新たな資源の開発	◎松田町の移動販売車による販売の実施(運行:足柄上商工会松田支部) ◎わくわく・ショッピング(買物ツアー)の運行

(2)小地域福祉活動推進事業

目 的	自治会を単位とした生活圏域での福祉活動の推進		
目 標	新型コロナの動向を確認しながら、これまで取り組んできたサロン活動(居場所づくり)の再開へ向けた支援をし、サロン活動を拡充します。	評 価	○

①小地域福祉活動推進組織助成金交付・連携・協働

令和5年度は13の組織に総額966,000円の活動助成金の交付を行いました。前年度と比較すると17,000円の減少となりました。重点事業として「支えあい活動推進事業助成金」にて、7組織に81,000円を助成しました。地域の要請に応じて担当職員を派遣し、各地区の事業・活動を支援したり、情報提供、情報発信を行いました。併せて、地域活動の情報提供を目的に毎月「ふくしの会通信」をふくしの会役員など約100人にメールにて送信しています。

また、居場所づくり活動を実践されている方々の情報交換の場として、「居場所づくり実践者のつどい」を開催しました。

【各地区への主な参加状況】

新たな活動の情報収集や支えあい活動の創出にむけた調整を行うため活動場所に出向きました。

地区名	期日・会場	内 容
西大井ふくしの会	5月13日(土)	・ふくしの会暮らし安全・安心サポート隊の活動について 調査結果の共有 生活支援活動の進め方について
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	6月30日(金) 8月18日(金) 根岸上自治会館	・スマホサロン スマホ操作の基礎 LINEの使い方・お友達追加方法
市場ふくしの会	7月19日(水) 市場自治会館	・ICHIBA DE CAFÉ
市場ふくしの会	8月20日(日) 市場自治会館	・竹細工と流しそうめん
市場ふくしの会	10月18日(水) 市場自治会館	・ICHIBA DE CAFÉ
市場ふくしの会	10月29日(日) 市場自治会館	・ハロウィンパーティー
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	12月16日(土) 根岸上自治会館	・お茶を飲みながらのおしゃべり会
新宿ふくしの会	1月19日(金) 新宿自治会館	・高齢者の栄養と孤食に関する研修
馬場ふくしの会	2月20日(火) 馬場公民館	・ひまわりサロン

〔指定地区〕 新宿・河原・根岸上・根岸下・市場・馬場・金手・上大井・西大井・篠窪・柳・上山田・中屋敷

名 称	区 分	内 容 等
新宿ふくしの会	主な事業	・にじいろの会(サロン、毎月10日) 延べ177名の参加 ・ふれあいサロン1回、会食会2回で延べ97名の参加、廃品回収を2回実施
	広報	◎4回発行(5月 第45号 8月 第46号 11月 第47号 2月 第48号) (カラー発行)
河原ふくしの会	主な事業	・ふれあいサロン・囲碁会(毎月1回)、おしゃべり会など
	広報	◎1回発行(3月 第26号) (カラー発行)
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	主な事業	・スマホサロンや茶話会、ピザづくりなどバラエティーにとんだ事業を実施
	広報	◎1回発行(3月) (カラー発行)

名 称	区 分	内 容 等
根岸下ともしびの会	主な事業	・四季折々の会を年4回開催、中学生との交流会やお楽しみ会、敬老の集いなど
	広報	◎1回発行(2月 第18号) (カラー発行)
市場ふくしの会	主な事業	・ICHIBA DE CAFÉを年間6回開催、夏の思い出づくり事業や手打ちそばづくり、うたごえIN市場などを開催
	広報	◎1回発行(6月 第25号)
馬場ふくしの会	主な事業	・ひまわりサロン(毎月1回定期的に開催) ・おしゃべり会(4回)、焼き芋大会など
	広報	◎1回発行(2月 第32号)
金手ふくしの会	主な事業	・カフェかなで(毎月1回)を実施 ・高齢者支援事業として、サークル支援活動を実施
	広報	◎1回発行(2月 第54号)
上大井福祉わかばの会	主な事業	・つどい(毎月1回)延べ270名の参加 ティーサロン(毎月1回)延べ145名の参加 ・ふれあい里山は延べ81名、ふれあい花の道は113名の参加
	広報	◎1回発行(1月 第39号)
西大井ふくしの会	主な事業	・井戸端いきいきサロン(毎月第3木曜日)延べ245名の参加 ・子育てスクスク応援隊を3回開催し延べ103名の参加 ・具体的な活動にむけてサポート隊会議を3回開催
	広報	◎3回発行(6月 第75号 12月 第76号 3月 第77号)カラー発行
篠窪ふくしの会	主な事業	・自治会館花壇の植え替えを実施 ・敬老の祝い品を配布
柳ふくしの会	主な事業	・長寿の祝い実施 ・県道グリーンベルトの花植えや草刈りを実施
上山田福祉推進協議会	主な事業	・里山ガーデン秋の開催 ・見守り花壇、ありがとう花壇、街角プランターの管理など
	広報	◎1回発行(3月)
中屋敷ふくしの会	主な事業	・敬老の日のプレゼントやどんど焼きなどを実施

②小地域福祉活動推進組織連絡会の開催

小地域福祉活動推進組織（ふくしの会）活動の充実を目的に、「居場所づくり実践者のつどい」を開催しました。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
小地域福祉活動推進組織連絡会「居場所づくり実践者のつどい」	3月13日(水) 生涯学習センター	【グループワーク】 テーマ:「居場所づくり活動について」 4グループに分かれて、グループワーク・情報交換、関係機関からの情報提供等を実施 延べ参加者18名

(3) ボランティアセンター事業の拡充

目的	ボランティア活動の普及・啓発事業を目的に、ボランティアの日などの事業を実施します。また、各種ボランティア講座等を開催しボランティア人材養成・確保に努めます。		
目標	ボランティアグループや学校との連携によりボランティア活動を推進します。	評価	○

① ボランティア登録相談・連絡調整

ボランティアセンターとして、ボランティアに関する相談・支援や必要に応じた派遣調整を行っています。新規のボランティア登録が13件ありました。

② ボランティアグループ等への活動支援と助成

ボランティアグループ2団体へ活動費を助成をしました。
(2団体へ総額 50,000円助成)

③ ボランティアの日の実施

- 毎月23日をボランティアの日と制定し、各種ボランティア活動を推進しています。
- 公共施設に設置している回収ボックスからペットボトルキャップ・インクカートリッジ等を随時回収しました。



期 日 等	場 所	内 容
4月21日(金)、5月23日(火) 6月23日(金)、9月22日(金) 10月20日(金)、12月22日(金) 1月23日(火)、2月22日(木) 3月22日(金)	町内小中学校及び公共施設	小・中学生登校時にペットボトルキャップ等回収。 【令和5年度】 ペットボトルキャップ 880kg ベルマーク 100,001点

④ ボランティア講座の開催

名 称	期 日 等	内 容
手話入門講座	7月26日(水)～ 8月23日(水)までの 全5日間 生涯学習センター	手話を通じて、聴覚に障がいのある方々の理解を深めるとともに、手話の基礎を学ぶ機会として開催。 講師: 足柄上ろうあ福祉協会会員、足上手話通訳者連絡会員
災害ボランティア講座	9月11日(月) 生涯学習センター	ビッグレスキューかながわの開催にあたり、近年の災害の傾向や災害ボランティアセンターの役割などを学ぶ機会として開催しました。 テーマ: 近年の災害と災害ボランティアセンター 講師: 園崎秀治氏 (office園崎代表) 参加者延べ35名
傾聴入門・スキルアップ講座	11月1日(水) 保健福祉センター	傾聴ボランティア養成講座として入門編を、既存のボランティアのスキル向上を目的にスキルアップ編を開催しました。 講師: 鈴木しげ氏 (NPOシニアライフセラピー研究所理事長) 参加者延べ49名

⑤傾聴あしがら活動支援

- おおい中央公園の休憩室などで「聴かせてサロン」を隔月(奇数月)第3水曜日の午後に開催しました。
- 新型コロナウイルスの影響で、高齢者施設等から傾聴ボランティアの受け入れ自粛の連絡があり、施設での活動を休止していますが月に1回の定例会を開催しました。
- 在宅で傾聴ボランティアの訪問を希望される方に、ボランティアの派遣調整を行いました。

⑥ビッグレスキューかながわへの参画

名 称	期 日 等	内 容
作業部会	5月18日(木) 生涯学習センター	◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練概要等について
	6月28日(水) 生涯学習センター	◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練概要等について (訓練全体像、タイムスケジュール、レイアウト)
	7月26日(水) 生涯学習センター	◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練概要等について (訓練全体像、タイムスケジュール、当日駐車場)
災害ボランティアセンター設置運営訓練	10月15日(日) おおい中央公園	◎災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ・役割毎の一連の流れを体験 ・ICT(kintone)を活用した災害ボランティアセンター運営参加者延べ102名(運営者35名、ボランティア67名)

⑦石川県中能登町災害ボランティアセンター運営支援

- 元日に発生した、能登半島地震により大きな被害を受けた石川県の各市町に、全国の社協がブロック毎に割り当てられ、神奈川県は関東Bブロックとして石川県中能登町への派遣要請がありました。
- 2月28日～3月5日までの1週間、現地災害ボランティアセンターへ赴き、現地調査班として運營業務支援を行いました。
- 災害VCの運営では、本会が令和3年に導入した、サイボウズ社のkintoneが活用されていました。事前受付などでは活用されていませんでしたが、現地調査ではタブレットを常に携行し現場でkintoneの入力を行うなど、実際の運用場面を垣間見る貴重な体験ができました。

⑧北陸物産展の実施

- 能登半島地震の発生により、北陸地方への観光客の減少等による観光業をはじめとするお土産品製造業など産業への影響が懸念されました。離れていても出来る支援として、北陸地方の特産品を販売する物産展を企画・実施しました。
- 被害が大きかった石川県を中心に北陸地方の特産品を、共同募金の助け合い資金を活用し、本会が一括購入したものを販売しました。売上と寄付の総額579,395円を中能登町社会福祉協議会へ寄付いたしました。

⑨災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書の改定

- 平成27年に大井町と締結した「災害時協定」については、様々な経年の変化に対応すべく検討並びに調整を進めて来ました。上記に記載のとおり、訓練での検証を行った上で町並びに社協の双方が合意に至り協定を改定しました。
- 調印式: 令和6年3月29日(金)

(4)第4次地域福祉プラン策定委員会の開催

目 的	地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体計画である地域福祉プランの第4次計画を策定します。		
目 標	地域福祉プラン策定委員会を開催し、第4次の計画を策定します。これまでの取組の評価並びに新たなアンケート調査の分析を通じて、時代に即した計画となるよう、行政・住民・社協が連携を取り計画策定を行います。	評 価	○

①策定委員会の開催

地域福祉プラン策定委員会を開催しました。

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容	等
策定委員会	5月26日(金) 保健福祉センター	○正副会長の選任について ○地域福祉プラン等の概要について ○地域福祉プラン策定スケジュールについて ○アンケート調査票について	
	10月20日(金) 保健福祉センター	○アンケート調査の結果について ○第3次大井町地域福祉プラン事業評価について ○第4次大井町地域福祉プラン骨子案について	
	12月13日(水) 保健福祉センター	○第4次大井町地域福祉プランの素案について ○今後のスケジュールについて	
	1月19日(金) 保健福祉センター	○第4次大井町地域福祉プランの素案について ○今後のスケジュールについて	
	3月14日(木) 保健福祉センター	○第4次大井町地域福祉プランの計画案について	

(5)広報・啓発活動、情報提供の充実

目 的	福祉に関する、サービス・ボランティア・地域活動等のタイムリーな情報を発信し、福祉への理解・参加を促進する		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの刷新により、アクセス数を増やし情報の発信・周知方法の拡充を図ります。 ・昨年度表彰できなかった功労についても、漏れなく推薦いただけるよう関係機関と連携します。 	評 価	◎

①社協ホームページの運営

ホームページのリニューアルを行いました。事業の案内や地域の情報など身近な内容を発信していきます。

<https://ooi-shakyo.jp> でご覧いただけます。

右記の二次元コードを読み取っていただくとスマートフォンでもご覧いただけます。



②ICTの導入による業務改善


令和3年度より導入しているkintoneを活用し、日々の業務改善を推進しています。Kintoneは全国的に災害ボランティアセンターの運営で活用されている、実績のあるシステムです。災害時に円滑に運用する上では、普段使いで操作に慣れておくことが重要です。また、「ノーコード」(専門知識が無くても)でアプリを作ることが出来ることから、主に総務部門・在宅福祉サービス部門で活用しています。

また、グループウェアとしてOfficeを導入しスケジュール管理や電話メモなどを活用し、ペーパーレス化を推進しました。

③福祉みんなのつどいの開催

地域に根ざした社会福祉の確立に向けて住民一人ひとりが何をすべきかを考える機会とし、併せて社会福祉に貢献された方々の功績を讃えることを目的として開催しました。

また、令和5年度は本会の団体会員である2団体と協働で“ともに生きる社会”をテーマとした福祉講座や講演会を同時開催しました。

期日・会場	内 容 等
11月23日(祝) 生涯学習センター	<p>【午前の部】 講 話:盲導犬ユーザの講話 体 験:視覚障がい者誘導体験</p> <p>【午後の部】 式 典:福祉功労者の表彰(表彰3件、感謝7件) 福祉作文優秀賞の贈呈(小・中学生10名) 福祉作文の発表(小学生1名、中学生1名) 講演会:テーマ「ともに生きる社会」 講師 平野友康氏(横浜創英大学准教授)</p> <p>来場者約200名</p> 

④広報紙の発行

社協活動の周知・福祉情報の提供、住民の福祉意識の高揚を図るため、広報紙「社協おおい」を隔月(奇数月の15日)で発行し、町内全世帯及び賛助会員、関係機関に配布しました。

号数・発行期日	主 な 内 容
各号共通掲載記事	<ul style="list-style-type: none"> ●ようこそボランティアセンターへ ●善意の寄託金品 ●社協カレンダー ●広告(10社)
第199号 5月15日	<p>表紙: ボランティアの日、レスパイト、福祉体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎令和5年度事業計画・予算 ◎移送サービス運転ボランティア講習会 ◎善意の募金箱設置店募集 ◎ボランティア活動紹介 ◎かざみどりより ◎リサイクルほほえみバザー
第200号 7月15日	<p>表紙: 200号記念</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎西大井調査活動報告会、研修会 ◎令和4年度事業報告、決算報告 ◎社協会費納入のお願い ◎200号記念特集 ◎サマーチャレンジセミナー ◎役員・評議員の交代 ◎法人後見事業の案内 ◎手話入門講座
第201号 9月15日	<p>表紙: とともに生きる社会かながわ憲章啓発イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ビッグレスキューかながわ ◎リサイクルほほえみの活動に携わって ◎サマーチャレンジセミナー報告 ◎夏休み事業報告 ◎食べきれない食品を募集 ◎赤い羽根共同募金
第202号 11月15日	<p>表紙: ビッグレスキューかながわにて災害VC設置訓練実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎福祉みんなのつどい ◎福祉作文入選者決定 ◎各種事業ボランティアの募集 ◎赤い羽根共同募金運動経過 ◎神奈川県視覚障害者福祉協会 ◎会費納入のお礼
第203号 1月15日	<p>表紙: 相和小学校学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎新年のあいさつ ◎福祉体験学習の報告 ◎神奈川県福祉作文コンクール入選者 ◎賛助・団体会員の紹介 ◎生活福祉資金案内 ◎赤い羽根共同募金実績
第204号 4月1日	<p>表紙: ふれあい広場開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各種事業ボランティアの募集 ◎手話サークル稲穂より ◎石川県災害VC運営支援報告 ◎パソコンひろばの案内 ◎貸出用品の案内 ◎ともしびショップゆう案内

⑤「みんなの想い」(福祉作文集)発行

名 称	部 数	配 布 先	内 容 等
みんなの 想い発行	400部	小中学校、 福祉みんな のつどい参 加者等	福祉作文の優秀作品をはじめ、サマーチャレンジセミナーの記録などを綴った「みんなの想い」(冊子)を発行し、小・中学校をはじめ、福祉みんなのつどいに来場された方々に配布しました。

⑥会員募集チラシの発行

名 称	部 数	配 布 先	内 容 等
社会福祉 協議会会 員募集案 内	6,000 部	町内の全世 帯 賛助会員 団体会員	社協会員会費制度や会費の活用方法等を掲載し、社協活動の周知と会員加入の増強を目的として、7月の会員募集時に発行しました。

(6)福祉教育の推進

①ふれあい教育普及校事業等の実施

期日・会場	内 容
5月15日(月) 上大井小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月16日(火) 相和小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
9月8日(水) 相和小学校	◎社協職員による「出前講座」
1月16日(火) 大井小学校	◎盲導犬講座
1月25日(木) 上大井小学校	◎視覚障がいについての講話への講師派遣
2月15日(木) 上大井小学校	◎車いすバスケットボール体験講座への講師派遣
2月21日(水) 上大井小学校	◎手話体験講座への講師派遣

②サマーチャレンジセミナーの開催

小・中学生の夏休みを使って、高齢・障がい者福祉についての理解を深め、命の尊さや多様性の尊重を確認するとともに、他者への思いやりの心を育むことを目的に開催しました。

期 日 ・ 会 場	目 的 ・ 内 容
8月1日(火) 日枝神社境内	◆一日体験講座【ペタンク体験】 講師:河原ゆめクラブ
8月8日(火) 総合体育館	◆一日体験講座【福祉用具】 講師:リフテック
8月24日(木) 大井小学校体育館	◆一日体験講座 【車いすバスケットボール】 講師:湘南スポーツクラブ



③福祉作文の募集・発表

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
福祉作文	夏休み期間	<p>児童・生徒の福祉意識の醸成を図るため実施しました。</p> <p>◎小中学生を対象に福祉作文を募集し、神奈川県福祉作文コンクールへ提出しました。小学生1名、中学生2名が入選しました。</p> <p>【応募総数】 中学生:191編、小学生:52編 計 243編(昨年比72編増)</p>

(7)住民相互の関係づくり支援

目 的	多様な主体との連携が求められる昨今、各種実行委員会事務局として関わるなかで、新たなネットワーク構築の好機と捉えて活動を支援します。		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・行事用機材の貸し出しを通じた地域コミュニティの推進 ・ふれあい広場実行委員会支援を通して参加団体との連携強化 ・チャリティーゴルフ実行委員会開催支援を通して関係者との連携強化 	評 価	○

①行事用機材の貸出

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容																																																																																															
コミュニティ活動推進用行事機材の貸出し	通 年	<p>自治会等各種団体が開催する行事に機材の貸出を行いました。自治会主催の夏祭りなどが再開され、貸出件数は前年度と比べて大幅に増加しました。令和5年度の貸出は100件でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機材の名称</th> <th>保有数</th> <th>貸出件数</th> <th>前年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>輪投げ</td><td>9セット</td><td>13</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>放送機材</td><td>1セット</td><td>8</td><td>7</td><td>1</td></tr> <tr><td>ビンゴ</td><td>1セット</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>ペタンク</td><td>3セット</td><td>1</td><td>4</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>ビーンボウリング</td><td>1セット</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><td>ポッチャ</td><td>1セット</td><td>1</td><td>3</td><td>△ 2</td></tr> <tr><td>テント</td><td>7張</td><td>7</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>非接触体温計</td><td>4台</td><td>0</td><td>4</td><td>△ 4</td></tr> <tr><td>かき氷機</td><td>3台</td><td>18</td><td>1</td><td>17</td></tr> <tr><td>綿菓子機</td><td>2台</td><td>12</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>ポップコーン機</td><td>2台</td><td>18</td><td>0</td><td>18</td></tr> <tr><td>プロジェクター</td><td>1台</td><td>5</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>グラウンドゴルフ</td><td>7セット</td><td>0</td><td>3</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>水槽</td><td>2個</td><td>8</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>長机</td><td>11台</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>点字器</td><td>30セット</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>高齢者疑似体験</td><td>7セット</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>100</td> <td>39</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	機材の名称	保有数	貸出件数	前年度	比較	輪投げ	9セット	13	5	8	放送機材	1セット	8	7	1	ビンゴ	1セット	2	1	1	ペタンク	3セット	1	4	△ 3	ビーンボウリング	1セット	3	3	0	ポッチャ	1セット	1	3	△ 2	テント	7張	7	4	3	非接触体温計	4台	0	4	△ 4	かき氷機	3台	18	1	17	綿菓子機	2台	12	1	11	ポップコーン機	2台	18	0	18	プロジェクター	1台	5	1	4	グラウンドゴルフ	7セット	0	3	△ 3	水槽	2個	8	0	8	長机	11台	1	0	1	点字器	30セット	1	0	1	高齢者疑似体験	7セット	2	2	0	合 計		100	39	61
機材の名称	保有数	貸出件数	前年度	比較																																																																																													
輪投げ	9セット	13	5	8																																																																																													
放送機材	1セット	8	7	1																																																																																													
ビンゴ	1セット	2	1	1																																																																																													
ペタンク	3セット	1	4	△ 3																																																																																													
ビーンボウリング	1セット	3	3	0																																																																																													
ポッチャ	1セット	1	3	△ 2																																																																																													
テント	7張	7	4	3																																																																																													
非接触体温計	4台	0	4	△ 4																																																																																													
かき氷機	3台	18	1	17																																																																																													
綿菓子機	2台	12	1	11																																																																																													
ポップコーン機	2台	18	0	18																																																																																													
プロジェクター	1台	5	1	4																																																																																													
グラウンドゴルフ	7セット	0	3	△ 3																																																																																													
水槽	2個	8	0	8																																																																																													
長机	11台	1	0	1																																																																																													
点字器	30セット	1	0	1																																																																																													
高齢者疑似体験	7セット	2	2	0																																																																																													
合 計		100	39	61																																																																																													

②ふれあい広場の開催支援

事業名称等	内 容 等
ふれあい広場の支援	4月23日(日)に予定していた第46回ふれあい広場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

③チャリティーゴルフ大会の開催支援

事業名称等	期日・会場	目 的	内 容
第34回町民チャリティーゴルフ大会	10月5日(木) 東富士カントリークラブ	・大会当日運営等支援 104名の参加 ・チャリティー金の受領 147,300円	
委員会の開催	6月13日(火) 9月6日(水) 10月2日(月) 生涯学習センター	・第34回大会の概要について ・その他	

(8)当事者活動への支援

目 的	当事者団体の主体的な活動支援と、支えあいのまちづくりに向けた取組を推進		
目 標	・関係団体への支援を通して、主体的な住民活動の促進 ・関係団体の連携と協働の促進	評 価	○

【高齢者事業】

①老人クラブ連合会への支援・協力

町老人クラブ連合会の事務局として役員会・各種行事の運営を担い、各種事業・関係機関との調整等を行いました。

事業名称等	目 的	内 容
役員会の開催	役員会を10回開催しました。	
各種スポーツ大会・文化活動への協力	各種スポーツ大会を開催しました。主な内容は次のとおりです。 5月9日(火)ペタンク大会 5月25日(木)総会 6月16日(金)グラウンドゴルフ大会 7月25日(火)パークゴルフ大会 8月17日(木)輪投げ大会 9月14日(木)日帰りバス旅行 9月26日(火)ペタンク大会(室内) 10月12日(木)グラウンドゴルフ大会 11月8日(水)パークゴルフ大会 11月16日(水)足柄上ブロックニュースポーツ大会 11月28日(火)ゆめクラブ大学 12月12日(火)ピザづくり体験会 1月23日(火)輪投げ大会 2月15日(木)芸能発表会 3月14日(木)役員日帰り研修会	
その他	5月24日(水) 南足柄市りんどう会館	◎足柄上ブロック老人クラブ連絡協議会 連合会長・事務局1名 出席

②ともしびショップへの支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
ともしびショップゆうへの支援	随 時	保健福祉センターに設置しているともしびショップに対して、運営上の相談に随時応じるとともに、運営委員会にも参画し、運営の支援をしました。
監査	5月23日(火) 保健福祉センター	・令和4年度事業報告、決算について
運営委員会	6月21日(水) 保健福祉センター	(1) 令和4年度事業報告並びに決算報告について (2) 令和5年度事業計画、予算について
パソコンひろば大井の支援	4月12日(水) 5月10日(水) 6月14日(水) 7月12日(水) 8月9日(水) 9月13日(水) 10月11日(水) 11月8日(水) 12月13日(水) 1月10日(水) 2月14日(水) 3月13日(水)	パソコンに興味があっても、気軽に触れる機会が少ない障がいのある人などが、パソコンボランティアと一緒にパソコンに触れ、共に楽しむ体験会を定期的に行いました。 延べ利用者66名 ボランティア延べ44名

【障がい者事業】

①「かざみどり」への支援

研修会等の企画にあたって役員会等に参加するとともに、定例会の開催等についても会場・情報提供等の支援を随時行いました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
かざみどりへの支援	随 時	かざみどりへ活動上の支援をしました。
総会	5月11日(木) 生涯学習センター	(1) 令和4年度事業報告、決算報告について (2) 令和5年度事業計画、予算について
定例会	随 時	定例会や役員会において、資料作成などの支援を行いました。

③身体障害者福祉協会への支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
総会	6月30日(金) 生涯学習センター	◎令和4年度収支決算・事業報告 ◎令和5年度収支予算・事業計画
研修会	10月24日(火) 三浦半島方面	中井町会員との親睦・交流を兼ねた社会見学会を実施しました。
福和会	11月22日(水) 中井町生涯学習センター	中井町会員との親睦・交流を兼ねた福和会(演奏会)に参加しました。
交流会	2月16日(金) 四季の里	会員との親睦・交流を兼ね「そばうち体験」を実施しました。

【各種福祉団体連携事業】

事業名称等	期 日 等	目 的	内 容
各種団体連携事業	通 年	随時、必要に応じて各種団体の活動や事業を支援しました。	◎老人クラブ連合会 ◎かざみどり ◎身体障害者福祉協会 ◎小地域福祉活動推進組織

2. 在宅福祉サービス部門

外出支援を目的とする移送サービス並びに買物支援事業の利用が継続的に増加しています。生活支援を目的とする生活応援隊についても昨年度に引続き大幅に利用件数が増加しています。こうした傾向は高齢化や核家族化が背景となっており、今後も更に増加することが予想されます。事業を継続していく上では、各サービスの担い手の確保が大きな課題です。

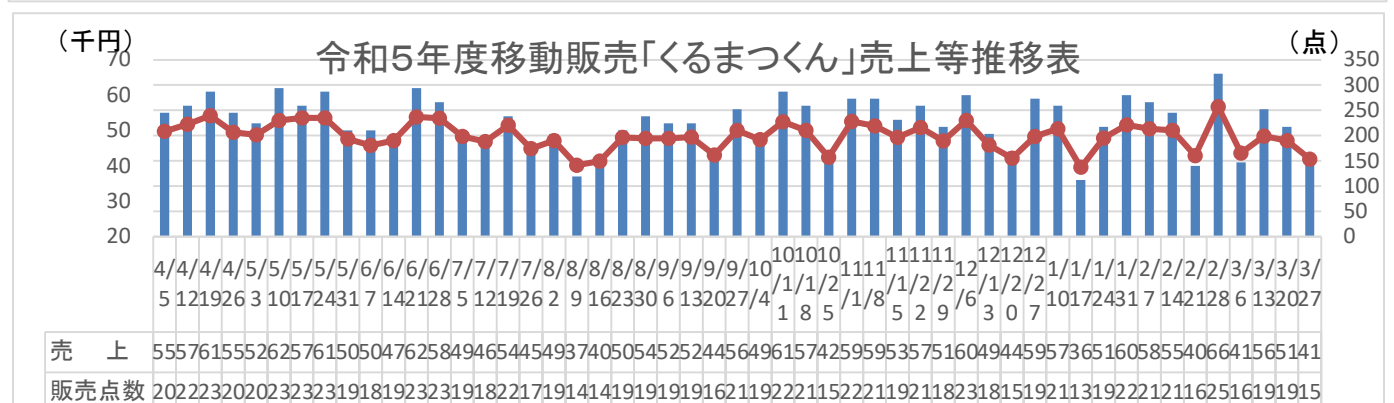
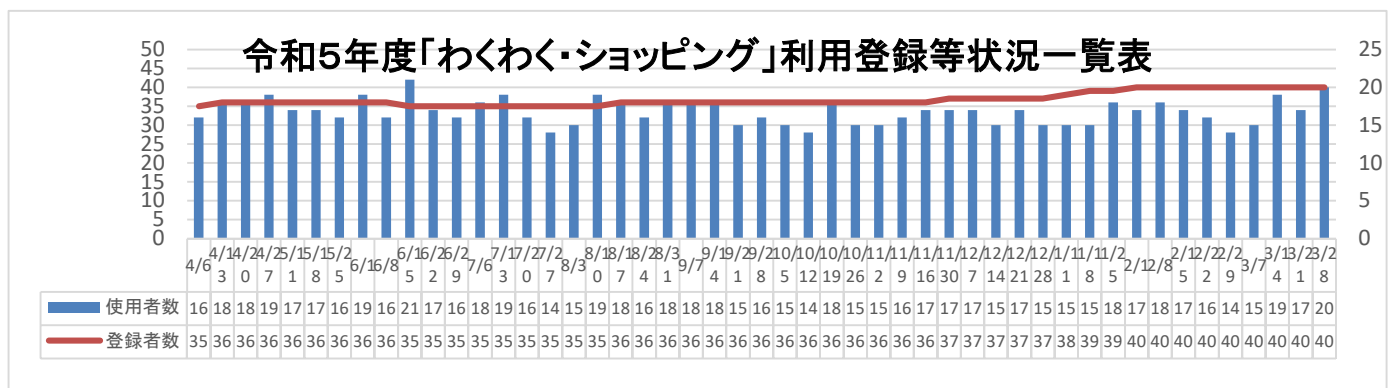
(1) 住民参加型在宅福祉サービス

目 的	住民の主体的な参加を促し地域の課題を解決する。また、その活動等を通して個別の課題を地域の課題として捉え、より主体的な活動を継続的に推進する		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 移送サービスの利用者並びに運転ボランティアの拡充 買物支援事業の周知と利用促進 生活応援隊の周知と支援件数の増 	評 価	◎

① 買物支援事業 ※再掲(生活支援コーディネーター設置に詳細を記載しています。)

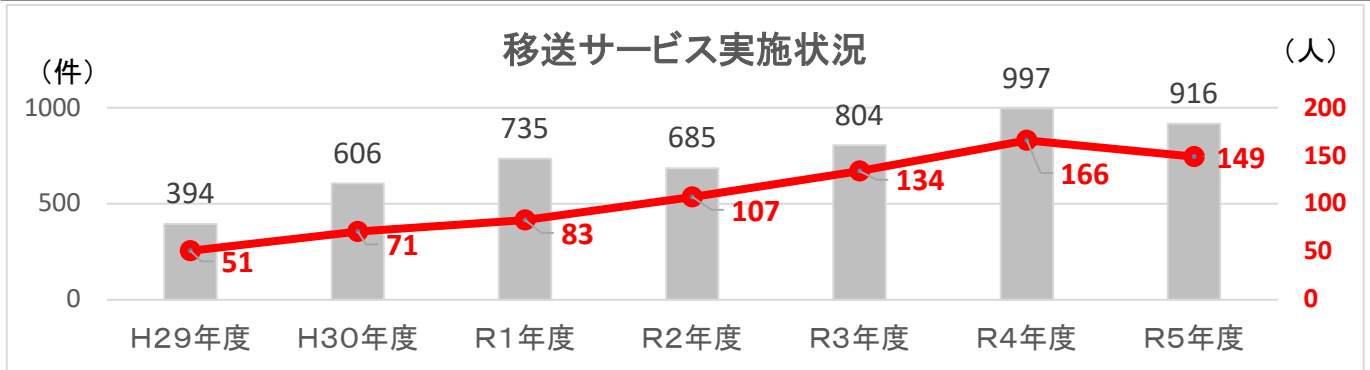
買物支援事業として、「わくわく・ショッピング」と「移動販売」を実施しました。令和2年度の試行を経て令和3年度から本実施となりました。

わくわく・ショッピングは、移送サービスの運転ボランティアと介助ボランティアの協力をいただき49回実施しました。延べ参加者822人(登録者40人)と前年度よりも増加しました。



②移送サービス事業(福祉有償運送)

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
移送サービス事業	通年 平日の8:30～ 17:15の間	要介護認定者や身体障害者手帳を所有してられる方等で、通院などの移動に困っている方を対象に、自宅から医療機関や福祉施設の間を福祉車両を用いて移送サービス運転スタッフ等が送迎しました。 年々その需要は高まっていますが、ドライバー並びに車両の確保が課題となっています。 上記のような背景などから、送迎の依頼に対して「お断り」をしなければいけないことが度々ありました。



	H29年度	H30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数	394	606	735	685	804	997	916
登録件数	51	71	83	107	134	166	149
利用距離(km)	3,377	5,165	5,937	5,392	6,036	8,798	6,741
ボランティア数	16	19	14	15	15	14	16
利用料金(円)	265,600	515,800	740,800	679,600	762,200	1,015,800	1,274,400

③レスパイトサービス

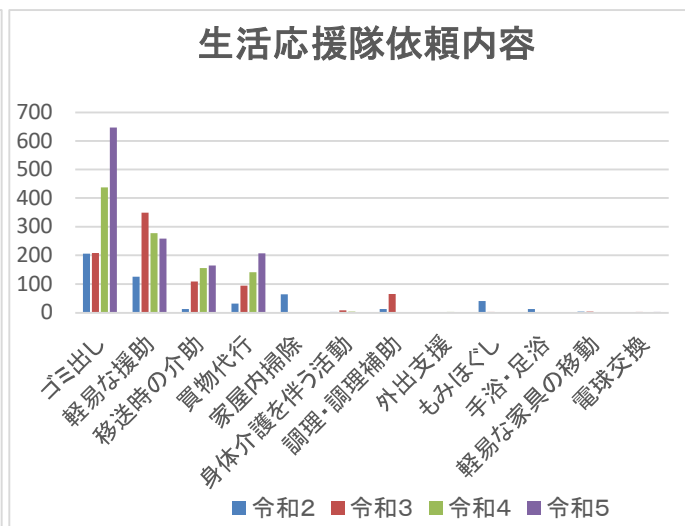
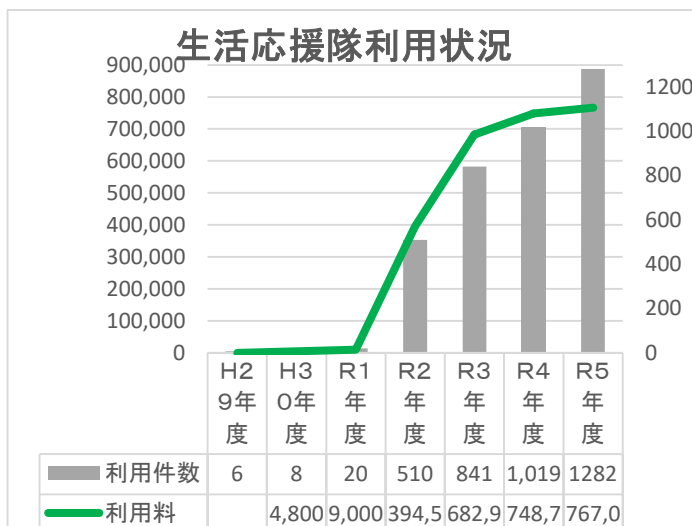
事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
レスパイトサービス事業	学校の長期休暇中 6日間 7月28日(金) 8月 9日(水) 8月16日(水) 8月21日(月) 12月27日(水) 3月27日(水) ふれあい館、他	社協の団体会員である「かざみどり」と「身体障害者福祉協会」からの申し入れにより、新たな催しとして「ともに生きる」をテーマとした交流イベントをレスパイトサービスとのコラボレーションイベントとして開催しました。当日は総勢70名を超える参加がありたいへん賑わいました。 夏季は恒例のプールが4年ぶりに利用でき参加者にとっても喜ばれました。また、高橋副会長のご協力をいただき、ピザ焼き体験会など貴重な体験をさせていただくとともに楽しい時間を過ごしていただきました。 冬季はミカン畑でミカン狩りを体験させていただきました。 春季は卒業・進学・進級のお祝いを行いボランティアさん手づくりのメッセージカードに各々メッセージを添えてお贈りしとても喜ばれました。



④生活応援隊

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
生活応援隊	平日の8:30～ 17:15の間	ひとり暮らし高齢者等が地域で安心して生活ができるよう、日常でのちょっとした困りごとを、地域の協力員が支援します。 令和2年6月サービス内容の拡充を行ったことにより、利用件数が大幅に増加しています。 令和4年度から引き続きゴミ出し支援、日常の軽易な支援、買物代行、通院時の付き添いの順で依頼が多数あります。担い手が不足するなかで依頼が増加しており、新たなしくみづくりへ向けた検討が必要となっています。

	サービス内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①	ゴミ出し	206	208	437	647
②	軽易な家具などの移動	4	4	0	1
③	電球・蛍光灯の取替	1	2	1	2
④	軽易な日常生活上の援助	125	349	277	259
⑤	買物の代行	31	94	156	207
⑥	一緒に体操	0	0	0	0
⑦	調理・調理補助	12	65	0	0
⑧	家屋内の掃除・整理・整頓	64	0	1	1
⑨	移送サービスの利用時の介助・病院内の付添い	12	109	141	164
⑩	外出支援	0	0	2	1
⑪	ハンドケア・フットケア	13	0	0	0
⑫	もみほぐし	40	2	0	0
⑬	身体介護を伴う活動	2	8	4	0
⑭	その他	0	0	0	0
	合 計	510	841	1,019	1,282



(2)その他の在宅福祉サービス

事業名称等	目 的 ・ 内 容		
福祉機器貸出事業	介護保険認定外の方を対象に、自立援助と介護者の負担軽減を図ることを目的に車いすを貸出しました。また、学校で行われる福祉教育の際にも貸出を行っています。		
	【貸出状況】	機器の名称	保有台数
		車いす	23台
			貸出件数
			47件

3. 相談支援事業部門

日常生活自立支援事業においては、現任者研修等へ積極的に参加するとともに担当職員・専門員等の交流会を開催して、スキルアップ連携強化を図りました。生活福祉資金においては、本則の貸付相談に加え、コロナ特例の償還相談対応を行いました。

(1)日常生活自立支援事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等を対象に、福祉サービスの利用契約等の手続や利用に伴う支払いなどの支援を行い生活の安定・質の向上を図る		
目 標	利用者の自己実現をサポートするために、体制整備を図るとともに、職員のスキルアップを図ります。	評 価	◎

○認知症高齢者の方など、相談・契約件数が増加の傾向にあります。

事業名称等	事 業 概 要																																				
日常生活自立支援事業	<p>判断能力が不十分な高齢者・障がい者の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行っています。</p> <p>契約件数は、年度末時点で26名。令和5年度は3名の生活支援員が退職し、新たな生活支援員の確保が課題となっている。</p>	<p>(件) 利用契約状況</p> <table border="1"> <caption>利用契約状況 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知症高齢者</th> <th>知的障がい者</th> <th>精神障がい者</th> <th>身体障がい者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	H30年度	6	3	4	1	R1年度	8	2	5	1	R2年度	9	2	6	1	R3年度	14	2	6	1	R4年度	12	5	4	1	R5年度	15	4	6	1
年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者																																	
H30年度	6	3	4	1																																	
R1年度	8	2	5	1																																	
R2年度	9	2	6	1																																	
R3年度	14	2	6	1																																	
R4年度	12	5	4	1																																	
R5年度	15	4	6	1																																	

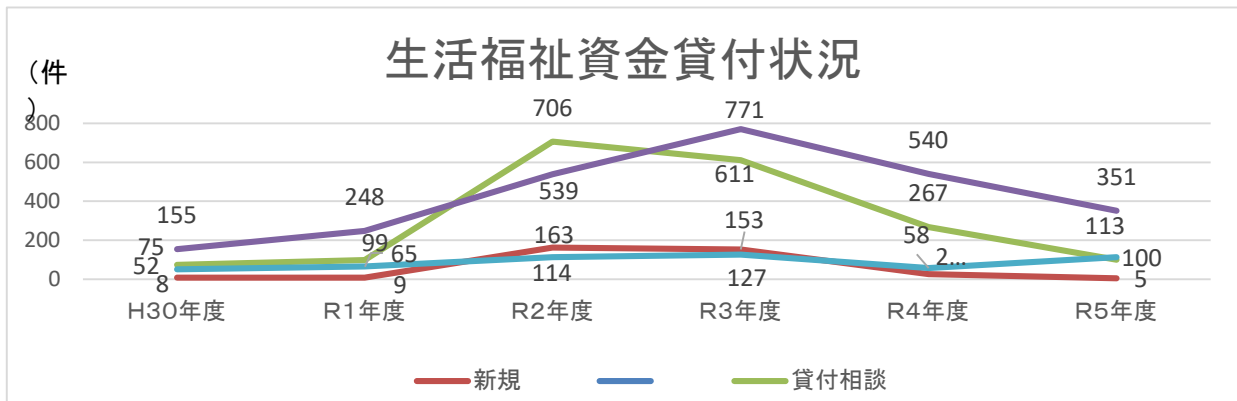
		問い合わせ・初回相談・相談援助、項目別件数			契約件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
問 い 合 わ せ 件 数	認知症高齢者	4	11	28	認知症高齢者	14	12	15
	知的障がい者	1	2	3	知的障がい者	2	5	4
	精神障がい者	5	4	7	精神障がい者	6	4	6
	身体障がい者	0	0	2	身体障がい者	1	1	1
初 回 相 談 件 数	認知症高齢者	1	2	10	計	23	22	26
	知的障がい者	1	2	1	新規契約	7	2	9
	精神障がい者	3	3	0	契約終了	2	3	5
	身体障がい者	0	0	0	令和5年度の契約終了者5名のうち、1名は法人後見へ移行しました。			
相談援助件数	1,123	933	836					
知的障がい者	703	522	306					
精神障がい者	679	490	479					
	身体障がい者	157	80	65				
合 計		2,677	2,049	1,737				

(2)生活福祉資金貸付事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	低所得世帯や高齢者・障がい者世帯などを対象に、一時的に資金を貸し付けることを通じて、世帯の自立支援を図る		
目 標	資金の貸付と返済や完済までの流れの中で、貸付利用世帯がこれからの生活に希望が持てるよう地域民生委員や関係機関と協働し、問題や課題解決に向けた支援を行います。	評 価	○

事業名称等	目 的 ・ 内 容
生活福祉資金の貸付	低所得世帯、障がいがある方や要介護高齢者が同居する世帯。新型コロナウイルスの影響を受け減収した世帯に対して、資金を貸し付けることによって経済的自立や背景にある生活問題の解決等に向けて支援しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規貸付	9	164	153	27	5
緊急小口	7	2	4	3	4
教育支援資金	1	1	3	3	1
総合支援資金	0	0	0	1	0
福祉資金	0	1	0	0	0
コロナ特例緊急小口資金	1	77	55	11	-
コロナ特例総合支援資金	0	53	54	9	-
コロナ特例総合支援資金延長貸付	-	19	12	-	-
コロナ特例総合支援資金再貸付	-	11	25	-	-
貸付相談	99	706	611	267	100
制度内容等問合せ	248	539	771	540	351
償還相談	65	114	127	58	113



(3) 相談事業

目的	これまでの相談の概念に捉われない、「断らない相談」へ向けて課題の整理・方針の検討を進めます。		
目標	複雑化・複合化する相談等にも対応できるよう、総合相談の実現へ向けて社協内・関係機関との話し合いの場を持ちます。	評価	○

①福祉相談窓口の設置

事業名称等	期日等	目的・内容
福祉相談窓口	随時	住民からの福祉に関する相談、生活上の心配事等について随時受け付け、情報提供を行っています。

(4) 成年後見制度

目的	認知症や知的・精神に障がいのある方は、契約を前提とする社会の中で、大変生活しづらくなっており、住み慣れた地域で安心して生活するためには、権利擁護の充実が求められています。本会が成年後見人等となり、その方の判断能力を補い、権利を擁護し、安心して、生活できるように支援していきます。		
目標	法人後見立ち上げ検討委員会の協議を踏まえ、受任体制の整備を進めます。また中長期的には、判断能力が不十分な認知症高齢者や障がいのある人へ、社協ならではのネットワークを生かし、法人後見事業や日常生活自立支援事業を通じて、身上保護や財産管理など権利擁護の仕組みを整備していきます。	評価	◎

◎法人後見等の受任

・法人後見等の受任状況は、目標どおり後見類型にて2件受任しました。第1回審査会で1件、第2回審査会で1件審査しています。

◇1件目 類型:後見 申立人:大井町長 (令和5年8月審判)

◇2件目 類型:後見 申立人:親族(長男) (令和6年2月審判)

事業名称等	期日・会場	内容等
法人後見事業審査会の開催	第1回法人後見事業審査会 7月3日(月) Zoomによる開催	(1) 審査 (2) 報告
	第2回法人後見事業審査会 2月9日(金) Zoomによる開催	(1) 審査 (2) 報告

受任の状況

	令和4年度	令和5年度	計
後見	2	2	4
補佐	0	0	0
補助	0	0	0

事業名称等	期 日 ・ 会 場	内 容 等
法人後見実施社協連絡会	7月11日(火) 県社会福祉センター	・法人後見の運用について ・ケースについて
	2月19日(月) 県社会福祉センター	・活動上の課題について ・事業体制について
あしがら成年後見センター地域連携ネットワーク連絡会	2月15日(木) 足柄上合同庁舎	あしがら成年後見センターの運営状況について 足柄上地区の課題について
成年後見制度利用促進連絡協議会	9月20日(水) 社協事務所 Zoomによる開催	事例報告(市町村における中核機関の取組等) 事前協議に基づく協議 専門職団体からの助言等 横浜家庭裁判所の取組
成年後見利用促進連絡調整会議	10月30日(月) 社協事務所 Zoomによる開催	申立てや利用促進について協議

(5)障がい者の就労に関する取組

目 的	障がい者の就労に関して、現状の課題を整理するとともに、解決策を検討することを目的に検討会を設置します。		
目 標	障がいのある方々が、町内で安心して働けるための環境整備へ向けて、当事者や関係機関と連携を図り解決へ向けた取組を進めます。	評 価	△

当事者組織をはじめ、相談支援機関並びに行政機関の職員等の参画を得て、令和4年度・5年度の2か年の事業として委員会を開催しました。初年度(令和4年度)は、障がい者の就労の実態把握と、今後の就労に関する要望等を把握するために、レスパイトサービス登録世帯等を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果の概要は、既に就労されている方々は、現在の就労を継続したいという希望が比較的多くありました。課題としては事業所までの送迎や親亡き後の住居や生活についてでした。また、学齢期等で今後就労の検討をされる方々は、町内に新しい事業所を望まれる方が多くいられました。加えて、生活介護を希望される声もあり、現在のサービス量・選択肢が不足している実態を把握することができました。

令和5年度は、新たに町内に設置された就労継続支援B型事業所「グッド・ファーム」と連携を図り、把握した課題の解決へ向けて調整を行いました。事業所の視察や意見交換を行い、課題の共有や今後の連携・協働へ向けて取組みました。

事業名称等	期 日 ・ 会 場	内 容 等
障がい者の就労に関する検討会の開催	第4回検討会 7月14日(金) 社協事務所	(1)障がい者の就労に関する現状の課題等整理について (2)障がい者の就労に関する研究・検討について (3)その他
	第5回検討会 2月5日(月) 社協事務所	(1)就労継続支援B型事業所グッドファーム視察、意見交換 (2)障がい者の就労に関する検討会の検討経過報告について (3)その他

4. 法人運営部門

○全職員の参加による課題提起・情報共有の場として、フライデーミーティングを毎月開催しました。担当業務以外の事業の現状や課題を共有することで、ひとり仕事を予防するとともに連帯感を高めました。

○資格取得支援制度を活用し、社会福祉士資格の取得など国家資格を取得する職員が増えています。

(1)組織運営の充実

①理事会の開催

目的	社会福祉法人制度改革を踏まえ、理事会・評議員会機能の強化を図る。理事会においては、協議体、運動体機能をより発揮するための運営の充実を図る		
目標	組織運営上の問題や課題解決、今後の取組について理事会や関係機関等との協議を継続的に進めます。具体的な取組については正副会長会議を中心に状況に応じた段階的な課題解決を進めます。	評価	○

執行機関である理事会を4回開催し、議案はすべて承認されました。

回	期 日	議 題
1	5月25日(木) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和4年度事業報告の承認について 第2号議案 令和4年度計算書類並びに財産目録の承認について 第3号議案 次期役員選任候補者の推薦について 第4号議案 評議員選任候補者の推薦について 第5号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第6号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第7号議案 定時評議員会の招集について 【報告事項】 ア 会長の職務執行状況の報告
2	6月12日(月) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 会長の選任について 第2号議案 副会長の選任について 第3号議案 令和5年度収支補正予算について
3	10月16日(月) 社協事務所	【決議事項】 第1号議案 令和5年度福祉みんなのつどいの開催について 第2号議案 令和5年度被表彰者の審査について 第3号議案 令和5年度収支補正予算について 【報告事項】 ア 会長の職務執行状況の報告
4	3月15日(金) 社協事務所	【決議事項】 第1号議案 令和6年度事業計画(案)について 第2号議案 令和6年度収支予算(案)について 第3号議案 令和5年度第3次補正予算について 第4号議案 役員等賠償責任保険の契約について 第5号議案 令和5年度臨時評議員会の開催について

②正副会長会議の開催

理事会等の開催前の事前協議の場として開催しました。

回	期 日	議 題
1	10月12日(木) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度福祉みんなのつどいについて ●令和5年度被表彰者の審査について ●令和5年度収支補正予算について
2	3月5日(火) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度事業計画書(案)について ●令和6年度収支予算書(案)について ●令和6年度予算の補正(案)について ●役員等賠償責任保険契約について ●令和6年度第4回理事会の開催について ●令和6年度臨時評議員会の開催について

③評議員会の開催

議決機関である評議員会を2回開催しました。

回	期 日	議 題
1	6月12日(月) 生涯学習センター	【報告事項】 令和4年度事業報告 【決議事項】 第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について 第2号議案 次期役員の選任について
2	3月27日(水) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和6年度大井町社会福祉協議会事業計画(案)について 第2号議案 令和6年度大井町社会福祉協議会収支予算(案)について

④監事会の開催

監事会を1回開催し、予算・業務の執行状況監査を受けました。監査の結果、適正に処理されていると認められました。

回	期日・会場	議 題
1	5月17日(水) 社協事務所	(1)令和4年度業務執行状況の監査 (2)令和4年度収支決算監査

⑤評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選出母体からの変更の申し出に伴い、新たな評議員の選任を行うため開催しました。

回	期日・会場	議 題
1	6月12日(月) 社協事務所	●評議員の選任について

(2)財務管理、財源の確保

目 的	法人運営における活動財源確保は喫緊の課題であり、これまでの方法にとどまらない自主財源確保の方法など、理事会等での協議を踏まえ計画的な取組を行います。		
目 標	法人運営財源の現状について、改めて理事会など組織内機関で確認し、今後の地域福祉の中核を担う社協の組織運営体制についての共通の理解を進めます。	評 価	○

①会員加入の促進

会員募集は、全世帯加入を目標に自治会関係者等の協力をお願いするとともに、組長の集まる会議に出席し会費についての説明を行いました。

会員区分	会費 (年額)		加入世帯数等		金額	
				前年度		前年度
一般会員	一口	500円	4,318世帯	4,351	3,438,000円	3,520,500円
団体会員	一口	500円	18団体	20	97,500円	112,500円
賛助会員	一口	3,000円	96社	98	703,000円	698,000円
合計					4,238,500円	4,331,000円

②会費説明会

社協の事業と社協会費の理解を図るため、自治会の組長会議で説明しました。また、会費の資料をお届けした際にも随時説明しました。なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により組長会議の内容が縮小されている自治会もあり、説明に伺えたのは1か所でした。

回	期 日	会 場	議 題
1	7月15日(土)	市場自治会館	(1) 社協事業について (2) 会費について

③企業広告の掲載

広報紙に企業広告を掲載し広告掲載料をいただきました。

協力企業数	広 告 掲 載 料
10社	172,000円

④社会福祉基金の造成等

社会福祉基金の保有額が1千万円余りとなり、今後も法人運営事業に基金原資を投入する状況にあります。残高の底が見えてきていることから、社協として主体的に事業展開を行うことも想定し、一定の残高を保有しておく必要があります。

項 目	金 額
令和5年3月31日現在積立累計額	12,111,841 円
令和6年3月31日現在積立累計額	12,310,140 円
令和5年度分基金利息額	198,299 円

⑤寄附金の受け入れ

町民の方々より寄せられた寄附金品とその配分等は次のとおりでした。

【金員】

区 分	件 数	金 額	説 明
一般寄附	35	627,489円	一般寄附金として
指定寄附	1	24,783円	買物支援事業用車両購入費として
善意の募金箱	12	76,379円	町内の商店などに設置させていただいている募金箱への寄附
合 計	48	728,651円	

【物品】

物 品 名	件 数	配 分 等 の 説 明
タオル・雑巾・軍手	2	町内高齢者施設等
アルファ米	2	生活困窮世帯他
小梅・八朔	3	ともしびショップ他
乾物	2	生活困窮世帯他
紙パンツ・尿とりパッド	2	介護世帯他
レトルト・保存食品	5	生活困窮世帯他
文具	1	
手ぬぐい	1	
菓子	1	生活困窮世帯他
ビール	1	ボランティア他
介護テーブル	1	
圧力なべ	1	
合 計	22	

(3)職員の連携強化・資質の向上

目 的	各部門の連携強化と個々の職員の専門性向上により、総合的な生活支援の体制をつくります。		
目 標	福祉に限定した資格取得や研修の受講とせず、ICTなどの利活用を含めた幅の広い資質向上へ向けて取組みます。	評 価	◎

①職員間ミーティングの拡充

担当業務毎の縦割り解消並びに課題や成果の共有等を目的とし、職員の主体的な参加による「フライデーミーティング」を開催しました。毎回、参加する職員から検討したいテーマ・個別ケースなどを提案してもらい、協議・検討を進めています。

回	期 日	内 容 等
1	4月21日(金) 社協事務所	●リサイクルほほえみの活動について ●倫理的ジレンマ・専門職のジレンマについて
2	5月19日(金) 社協事務所	●生活応援隊の位置づけについて ●ビッグレスキューかながわについて
3	6月16日(金) 社協事務所	●外出時の事故の対応について ●災害ボランティア研修会について ●福祉車両の購入について ●社協の横領事件について

回	期 日	内 容 等
4	7月21日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●NPO等への会費支出について ●廃品回収による収益事業の実施について ●高齢者の外出支援について ●町防災訓練への参加について
5	8月18日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて ●アルコールチェックの実施について
6	9月14日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●セニアカーの活用について ●令和5年度前期の事業進捗について ●台風13号被災地支援について
7	10月25日(水) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●ビッグレスキューかながわの振り返り ●生活応援隊のサービス内容について ●福祉みんなのつどいの運営について ●ふれあい広場について
8	11月17日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●生活応援隊の料金について ●アルコールチェックの具体的な実施方法について ●福祉みんなのつどいの運営について ●リサイクルほほえみの活動について
9	12月15日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●産業まつりフリーマーケットについて ●令和6年度社会福祉土の実習受け入れについて
10	1月19日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●アルファ米(非常食)の活用について ●令和5年度事業評価について ●令和6年度福祉みんなのつどいの開催について
11	2月16日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●能登半島地震被災地支援事業について ●はじめの一步講座のグループワークロールプレイ
12	3月15日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●北陸物産展の振り返りと来年度の実施について ●中能登町災害ボランティアセンターの運営状況(報告)について

②各種研修会・会議への参加

各種サービスや業務の充実を図るために研修会等に参加し資質向上に努めました。

回	区 分	期 日・会 場	内 容 等
1	第1回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	6月23日(金) Zoomによる開催	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業実施要綱等の改正について ・神奈川県内における成年後見の取り組みについて
2	第2回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	3月12日(火) Zoomによる開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度日常生活自立支援事業取り組み予定について ・他社協に情報提供を求めたい事項について
3	協議体	9月26日(火) 1月29日(月) 3月14日(木) 保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の生活支援コーディネーターの取り組みについて ・生活支援担い手養成研修(はじめの一步)について ・はじめの一步講座修了者へのフォローについて ・社会資源一覧表の活用について

回	区 分	期 日 ・ 会 場	内 容 等
4	大井町地域包括支援センター介護予防担当者会議	4月28日(金) 5月25日(木) 6月29日(木) 7月27日(木) 8月24日(木) 9月21日(木) 10月26日(木) 11月11日(木) 12月21日(木) 1月18日(木) 2月22日(木) 3月28日(木) 保健福祉センター	・望む暮らしや元の生活に戻れるための支援について ・個別ケース検討 ・はつらつクラブの新規利用者の状況等について ・参加者のモニタリングについて ・卒業後に、地域で参加できる社会資源について
5	生活福祉資金担当職員研修会	6月14日(火) Zoomによる開催	・各種貸付事業の内容について
5	災害ボランティアセンター設置運営訓練でのkintoneの活用へ向けた打合せ	7月25日(火) 8月1日(火) 8月8日(火) 8月15日(火) 8月22日(火) 8月29日(火) 9月5日(火) Zoomによる開催	神奈川県社協とサイボウズ社の柴田氏とのミーティング ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練でのkintoneの活用に向けて ・9都県市防災訓練での活用へ向けて(相模原市社協) ・ビッグレスキューかながわでの活用へ向けて(大井町社協) ・秋田県内被災地社協へのkintoneの導入へ向けて
6	福祉有償運送2市8町運営協議会	6月29日(木) 真鶴町役場	・利用用の改定について

③資格取得支援制度の活用促進

各種新規事業を実施するなかで、より求められる職員の専門性向上を図るために資格取得支援制度の利用を促進しました。令和5年度は1名が国家資格に合格しました。

第36回 社会福祉士国家試験合格 1名

(4)地域福祉推進のためのネットワーク

目 的	各種団体との連携強化を図るとともに、新たなネットワークづくりへ向けた取り組みを積極的に推進します。		
目 標	関係機関の会議等に積極的に参加し、連携・協働に向けたネットワークの強化に努めます。	評 価	○

①関係機関・団体との連携

福祉ニーズの把握や問題解決への調整・協働や効率的な事業の実施等、関係機関・団体との連絡・調整、運営への参画に努めました。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
民生委員児童委員協議会との連携	通 年	定例の民生委員児童委員協議会へ参加し、社協事業の周知や協力依頼、住民の生活問題の把握に向けた協働などを行っています。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
大井町地域公共交通会議	5月31日(水) 10月20日(金) 1月26日(金) 役場会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告及び決算について ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について ・大井町巡回バス「ゆめバス」について ・互助輸送サービスガイドラインについて ・商業施設等の連携サービスについて ・松田町AIオンデマンド交通実証実験の実施について
大井町職員防災検討委員会	5月23日(火) 6月14日(水) 7月20日(木) 12月15日(金) 生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・大井町地域防災計画改訂の内容について ・大井町職員防災検討委員会の運営について ・大井町総合防災訓練の概要について ・ビッグレスキューかながわの概要について
足柄上地区社協連絡会への参画	通 年	足柄上地区1市5町の社協で連絡会を組織し、会長会・事務局長会・職員会の担当制をしいて各種の協働事業を実施するとともに会議を開催し連絡調整を図っています。
幹事会	4月17日(月) 中井町保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ◎令和4年度事業報告・決算報告 ◎令和5年度事業計画(案)・予算(案)
役員合同研修会	12月7日(木) 大井町生涯学習センター	<p>テーマ 大規模災害時における社会福祉協議会の役割</p> <p>講師 中島孝夫氏(神奈川県共同募金会事務局長)</p>
事務局長・担当職員合同部会	6月30日(金) 10月26日(木) 3月18日(月) 本会事務所	<ul style="list-style-type: none"> ◎災害ボランティアセンター担当者会議について ◎地域福祉担当者会議について ◎役員合同研修会について ◎権利擁護事業担当者会議について
地域福祉担当者会議	7月20日(木) 9月22日(金) 2月26日(月) 松田町健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ◎令和5年度の会議の持ち方について ◎地域福祉研修会について ◎情報交換
地域福祉担当職員研修会	1月17日(水) 松田町健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ◎ほっとステーション小田原の取組みについて <p>講師 金山京子氏(県社協地域課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 困難事例の対応や他機関との連携
権利擁護事業担当者会議	5月23日(火) 2月6日(火) 南足柄市りんどう会館	<ul style="list-style-type: none"> ◎あしがら成年後見センターについて ◎日常生活自立支援事業の実施状況 ◎事例検討
生活支援コーディネーター実務者情報交換会	7月13日(木) 3月11日(月) 松田町社協	<ul style="list-style-type: none"> ◎令和5年度の生活支援コーディネーターの取組について ◎情報交換
災害ボランティアセンター担当者会議・訓練(ビッグレスキューかながわ)	6月21日(水) 12月5日(火) 大井町社協 10月15日(火)訓練 おい中央公園	<ul style="list-style-type: none"> ◎令和5年度の取組について ◎ビッグレスキューかながわについて ◎災害ボランティアセンター運営でのICTの活用について

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
西湘ブロック社協 ボランティア担当 職員会議	6月21日(水) 松田町生涯学習セン ター	◎令和4年度の取組状況について ◎令和5年度の活動計画について ◎情報交換
地域けあねっと わーく会議	5月15日(月) 7月24日(月) 9月25日(月) 11月20日(月) 1月15日(月) 保健福祉センター	◎事例検討(町内介護保険事業所持ち回り) ◎介護予防のための地域ケア個別会議 ◎本人が望む暮らしや元の生活に戻る支援について
要保護児童対策 地域協議会実務 者会議	4月20日(木) 7月6日(木) 11月11日(木) 2月15日(木) 保健福祉センター	◎要保護児童対策地域協議会設置要綱について ◎居所不明児童に係る対応基準について ◎要保護児童等進行管理について
生涯学習推進委 員会議	10月24日(火) 1月23日(火) 3月12日(火) 生涯学習センター	◎各課の取組状況について ◎生涯学習カレンダーについて ◎令和5年度生涯学習関連事業について
かながわ人生100 歳時代ネットワ ーク定例情報交換 会	12月27日(水) Zoomによる開催	◎「この指とまれプロジェクト」プレゼンテーション ◎「この指とまれプロジェクト」実施報告 ◎個別意見交換

②共同募金会大井町支会の運営

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
共同募金運動と の連携	通 年	当協議会が共同募金会大井町支会として募金運動を実施 しています。
支会事務局長会 議	11月16日(木) 2月22日(木) 県社会福祉センター	・令和5年度共同募金運動について
支会事務局担当 職員会議	4月27日(木) 8月1日(火) 県社会福祉センター	・令和5年度共同募金運動について

赤い羽根募金は10月1日(日)～12月31日(日)まで。年末たすけあい募金は12月1日(金)～12月31日(日)まで実施しました。それぞれの募金額は次のとおりです。

内 容	金 額	備 考
募金総額	3,128,260 円	
赤い羽根募金	1,914,389 円	
戸別募金	1,490,050 円	
法人募金	171,000 円	
職域募金	31,955 円	
街頭募金	36,147 円	
その他の募金	185,237 円	
年末たすけあい募金	1,213,871 円	
戸別募金	1,163,871 円	
その他の募金	50,000 円	